#003

MASAFUMI WATANABE

「基本的に仕事がメインの1週間だったけど、2ヵ月ぶりに海外から彼女が帰ってきたり連休があったりで、意外とゆったりモードだったかも。最近、アナログの粗い感じの音が気になっていて、先月スペインとイギリスへ旅行に行った際も、現地でレコードを大量に購入しました。僕の好きなマイルドでグルーヴ感のある音楽は、アナログの方が断然オススメ。ミッドテンポな音楽をレコードでかけて、マイペースに春夏の商品を考えているこの頃です」

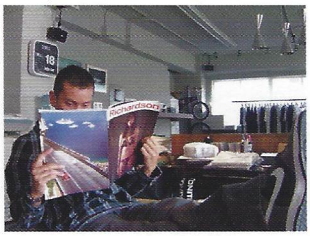
渡辺真史
（DLXディレクター）

CAMERA TYPE：《SONY》Cyber-shot DSC-P2

SEP.18.THU／AM10:30

title
BEST WORKS ON DEATH ROW
artist
2 PAC

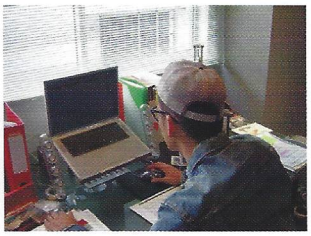
「家からオフィスへ出勤中。一番集中して音楽を聴けるのがこの時なんです。最近のヘビーローテーションはこのトリビュート盤かな」



SEP.18.THU／AM11:30

title
COME CLOSE TO ME
artist
COMMON

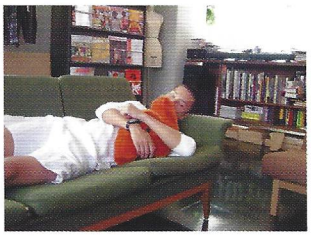
「僕は仕事に取り掛かる前、必ず本を読んだりメールをチェックします。徐々に気分を高める時にはグルーヴ感ある曲がハマりますね」



SEP.18.THU／PM3:00

title
LIGHT YOUR A ON FIRE**
artist
BUSTA RHYMES

「先月行ったイギリスで購入。テンションが上がってくる雰囲気の曲が多く仕事中には欠かせません。激しすぎないビートがいい感じ」



SEP.18.THU／PM6:00

title
FRONTiN'
artist
PHARRELL WILLIAMS FEATURING JAY-Z

「事務所のソファに寝そべっている時のワンシーン。ベッドダウンというよりメディテーションな感じ。スローテンポなファレルを聴きながら」

RYU

「大阪でのイベント“Neon”のDJに始まり、『パルコミュージアム』でのサイラスのエキシビション&『ホテル クラスカ』でのアフターパーティーまで。今週はイベント満載、つねに音のあるところで動いてましたね。人と会ったり、音のある空間に身を置く機会が多かったから、頭の中を組み立てるのにすごくいい時間が過ごせました。春夏の展示会に向けて、音を媒介にいろんなアイデアが芽生えた1週間でしたね」

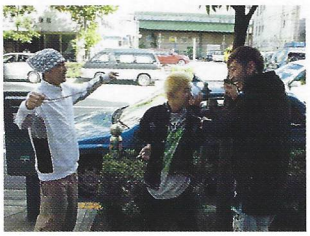
RYU
（MOTIVEデザイナー）

CAMERA TYPE：《SONY》Cyber-shot DSC-P8

SEP.13.SAT／PM9:50

title
electro hetero
artist
The Twin

「DJ前に、うどん屋『川福』で腹ごしらえ。このプロモ盤は、UKから駆け付けたDJジョンのプレゼント。80sな肌触りのエレクトロ」



SEP.14.SUN／PM1:32

title
We love music
artist
INTERNATIONAL PONY

「大阪『SUPREME』の愉快な仲間たち（笑）。彼らと過ごす時間同様、いいテンションで聴かせてくれる内容のアルバムです」

SEP.19.FRI／PM8:37

title
ROCKER'S DELIGHT
artist
VARIOUS ARTISTS

「サイラスのエキシビション会場。ローファイでアンダーグラウンドな匂いが、90s初期のアシッドハウスに通じるものを感じました」

SEP.20.SAT／AM3:05

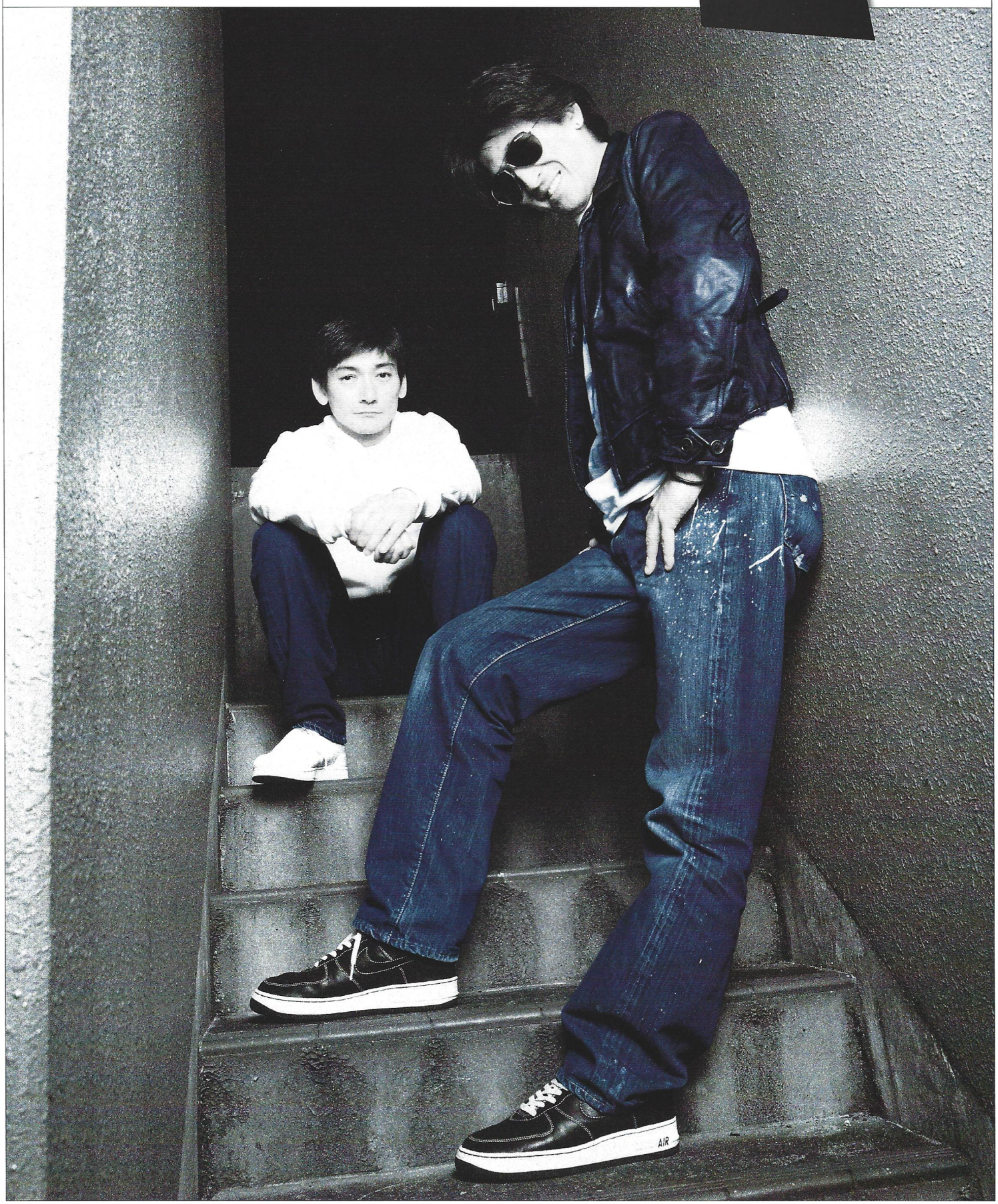
title
WHERE IS HERE
artist
VARIOUS ARTISTS

「クラスカのパーティーは、DJと客の一体感が最高でした。これは、その時の空気感を彷彿とさせるプログレタッチなエレクトロ」

Hi-End style magazine HUGE December 2003

DEAD END

#06(25)

compiled by **detz matsuda & toru eye**
photo by **toshifumi furuta**
special thanks to **MB**

DETZ MATSUDA
TORU-EYE